

昭和興産

昭和興産は中期経営計画「SK2020」で、新規商材の育成と海外展開の強化を推進している。中計では最終年度の2020年度に売上高1000億円(国内外単純合算)の達成を目標としており、今後セルロースナノファイバーなど新規商材の育成に努める。人材面では健康経営推進とともに、このほど立ち上げた

「女性活躍プロ」で活性化

女性活躍を促進していく。同社の18年度上半期(1~6月)の業績は好調に推移し、通期でも過去最高となる見通し。上半期は洗剤原料やEV(電気自動車)関連材料、アルミの圧延材料など汎用品を中心に伸長。また土木・建築分野が中心の「産業資材」の販売も増加傾向にある。とくに土木工事に使用する特殊セメントが伸びており今後成長が見込まれることから、同事業を重点分野として育成していく。海外事業は中国の拠点とタイ、インドネシアの現地法人で展開している。順調に推移。進出を検討しているベトナムについては近く現法設立のため準備室を設けその具体化に備える。新規商材の育成では、セルロースナノファイバ

「女性活躍推進プロジェクト」により社内活性化、アルミの圧延材料など汎用品を中心に伸長。また土木・建築分野が中心の「産業資材」の販売も増加傾向にある。とくに土木工事に使用する特殊セメントが伸びており今後成長が見込まれることから、同事業を重点分野として育成していく。海外事業は中国の拠点とタイ、インドネシアの現地法人で展開している。順調に推移。進出を検討しているベトナムについては近く現法設立のため準備室を設けその具体化に備える。新規商材の育成では、セルロースナノファイバ

ではメーカーと連携し地道な活動を続けており、20年以降の具体化に備え種蒔きを積極化していく。インドネシアのハービビジネスも20年頃の収益化を想定している。人材面での体制強化に關しては今夏「女性活躍推進プロジェクト」を立ち上げ、各拠点を横断した活動を展開している。このような取り組みで現場から会社への自発的な提言を促し、将来的には女性管理職、役員誕生を見込む。